教科名	商業	学年	３	教科書 補助教材 等	全商簿記実務検定模擬問題集1級（会計） 日商簿記検定模擬問題集２級
科目名	Ｂ選択　会計総合	単位数	３		

科目の 到達目標	全商簿記実務検定１級の取得 会計に関する総合的知識として、実社会で必要な会計学また、有価証券報告書の読解

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	配当時数	備考
一学期	4	全商簿記実務検定１級問題演習	資格取得に向けての問題演習を行う 仕訳・決算	8	
	5	全商簿記実務検定１級問題演習	資格取得に向けての問題演習を行う 仕訳・財務諸表分析・連結	8	授業内考査
	6	全商簿記実務検定１級問題演習	資格取得に向けての問題演習を行う 模擬問題演習	13	
	7	日商簿記2級問題演習	資格取得に向けての問題演習を行う 第1問対策（仕訳）	4	授業内考査
二学期	9	日商簿記2級問題演習	資格取得に向けての問題演習を行う 第３問対策（決算）	9	
	10	日商簿記2級問題演習	資格取得に向けての問題演習を行う 第２問対策（連結会計）	8	授業内考査
	11	日商簿記2級問題演習	資格取得に向けての問題演習を行う 模擬問題演習	13	
	12	日商簿記2級問題演習	資格取得に向けての問題演習を行う 模擬問題演習	4	授業内考査
三学期	1	会計に関する総合学習	会社法、財務分析	8	
	2	会計に関する総合学習	粉飾決算、監査	9	授業内考査
	3				

年間授業 時間数計	84	1学期 33　　2学期 34　　3学期 17

学習上の留意点	生徒個々の到達度に差があるため、各個人の進度に応じた授業を行う。 実企業の財務諸表を活用し、社会に出て活用できる会計学を学ぶ。

評価の観点		評価方法
関心･意欲･態度	株式会社における簿記と会計に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して主体的に取り組むんでいる。	定期考査は生徒の到達度に応じて問題を作成し実施する。 評価については、考査点、出欠席点、授業中の態度、提出物等を総合的に判断し評価する。
話す・聞く能力	さまざまな処理法・記帳法、財務諸表の作成方法についてなぜそのように行うのか自ら思考を深め、知識と技術を身に付けている。	
読む能力	株式会社における簿記と会計に関する技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、その技術を適切に活用している。	
知識・理解	株式会社における簿記と会計に関する知識を身に付け、企業会計の基本的な理論や財務諸表の作成方法について理解している。	